

KAWASAKI

かわさきアートニュース **ART NEWS**

Vol.282

2019年12月号



歌川広重(初代)「東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟」



川崎浮世絵ギャラリー
～ 斎藤文夫コレクション～
KAWASAKI UKIYO-E GALLERY SAITO FUMIO COLLECTION

日本の宝、これぞ浮世絵
12月3日開館

CONTENTS [目次]

- 02 | 特集 **川崎浮世絵ギャラリー**
～斎藤文夫コレクション～開館!
- 04 | 音楽 **ミューザ川崎シンフォニーホール**
- 07 | 歴史・文化 **東海道かわさき宿交流館**
- 08 | イベントレビュー
- 10 | 美術 **市内ギャラリー情報**
- 13 | 演劇 **アルテリオ小劇場**
- 14 | 映画 **アルテリオ映像館**



THE KAWASAKI FOUNDATION

川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション～ 12月3日オープンします！

JR川崎駅前に「川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション～」が新たに開館します。
斎藤文夫さんは、元参議院議員で現在は川崎市観光協会会長、そして著名な浮世絵コレクターでいらっしゃいます。
国内外で展示実績のある4,000点に及ぶ貴重なコレクションをお楽しみください。

ギャラリーイメージ図

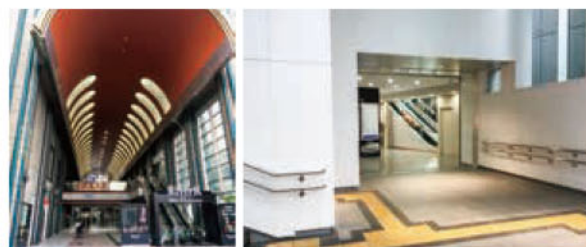
施設概要

所在地／川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F
(JR川崎駅北口東より徒歩2分もしくは中央東口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩2分)
開館日／2019年12月3日(火)
休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館)、年末年始、展示替えの期間
開館時間／11時から18時30分まで
観覧料／500円(ただし高校生以下、障がい者とその介護者1名は無料)



ロゴマーク

歌川広重(初代)「東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟」に描かれている、力を入れて棹をさす「六郷の渡し」の船頭をシルエットとしてデザイン化されました。



左)タワー・リパーク1F入口
右)JR川崎駅北口東方面のタワー・リパーク2F直結通路

コレクションの魅力

■希少な作品を含む豊富なコレクション

- 所蔵数は約4,000点、希少性の高い肉筆画も約100点と充実
- 「東海道五拾三次」や「富嶽三十六景」などの続き物を全作品揃えるなど高い希少性



■郷土ゆかりの作品も

- 川崎や神奈川にゆかりのある作品を起点とする高い郷土性
- 歴史体系に沿った包括的なラインナップ
- 歴史を追った系統的収集がなされ、特定の絵師やジャンル、時代に偏らない包括性

浮世絵Q&A (協力:川崎市文化財団 学芸員 廣岡由佳理さん)

◎浮世絵は版画ですか？

A 浮世絵は木版画のイメージが強いですが、肉筆画(にくひつが)という筆で描かれた1点モノと、版本の挿絵も含まれます。版本とは、木版で印刷された本のことです。浮世絵の祖である菱川師宣は、それまで本の挿絵でしかなかったものから独立した一枚の版画作品を考案しました。その後、モノクロで摺(す)る墨摺絵、単色の紅摺絵、そしてカラフルな錦絵まで、まさに現代の印刷技術のように発展を遂げました。

◎浮世絵はどうやって摺る？

A 今で言う出版社である版元(はんもと)が絵師に依頼し、絵師は流行りの色など版元の注文を聞きながら作画します。その後、彫師が作画に合わせて色ごとの版を作り、最後に摺師が顔料を使用しながら紙に摺ります。ただ、実際に絵に名前が載るのはほとんど絵師と版元だけです。

◎複製でも価値がある？

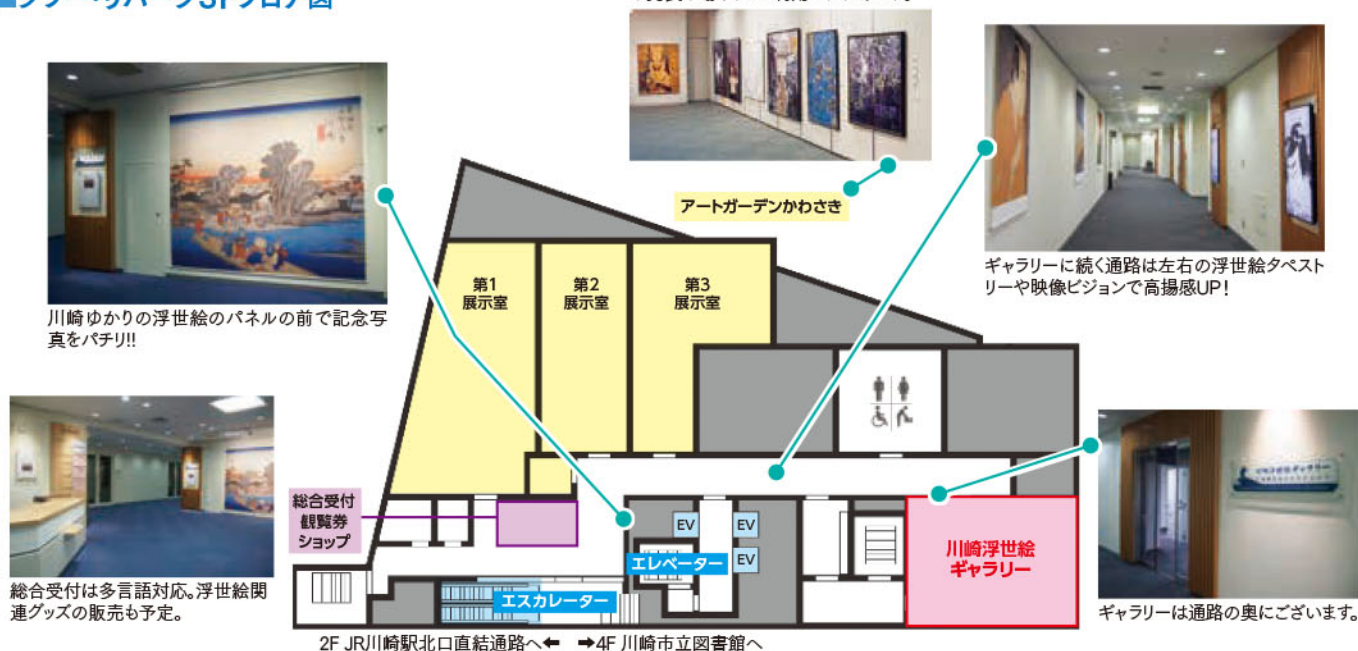
A 1回で約200枚摺られ、1回目の初摺(しょずり)が最も価値があります。広く庶民に流布されていた浮世絵も、西洋人が買い求めるようになるにつれ、日本での価値も上がっていききました。ちなみに、版木はカンナで削って再利用されていたので、現在はほとんど残っていないそうです。

◎浮世絵ならではの魅力は？

A 浮世とは当世、つまりその時代を映しているのが浮世絵です。ファッション誌のような役割も果たした美人絵や役者絵、旅行ブームに貢献した名所絵、そして妖怪絵や相撲絵など、当時の人々の生活を感じることができるものが多くあります。また、色のグラデーションや押し摺りという凹凸を表現する技法など、間近で見てこそ楽しめる部分も多くありますので、ぜひギャラリーに足を運んでいただきたいです。

■タワー・リパーク3Fフロア図

絵画、造形、工芸、写真など多様なアートの発表の場としてご利用いただけます。



開催予定の展覧会 ※各展覧会の内容は今後変更となる可能性があります。

第1回 開館記念

日本の宝 浮世絵名品展 ―墨摺絵から錦絵誕生まで―

前期12月3日(火)～26日(木)、後期1月7日(火)～26日(日)

※前期と後期で展示替えあり

斎藤文夫コレクションが誇る浮世絵作品から名品の版画約90点、肉筆画約15点を展示します。

菱川師宣、奥村政信、鈴木春信、喜多川歌麿など、17世紀後期の単色の墨摺絵誕生から、18世紀後期の多色摺りの錦絵確立まで、浮世絵の歴史の前半を彩った作品の変遷をご覧いただけます。



奥村政信 小姓さん路 草子笛



鈴木春信
風流やつし七小町 草紙あらひ

◎特に貴重な作品は?

▲鈴木春信「風流やつし七小町」は、謡曲で名高い小野小町に関する7つのエピソードを江戸時代風に描いた作品です。7図揃っているのは世界唯一だそうです。

◎肉筆画とは?

▲筆で描く1点モノの希少な浮世絵です。庶民が買い求めることはできず、富裕層が絵師に注文して描かせることが多かったようです。題材は、美人画・風景画・風俗画などが好まれました。

アートガーデンかわさき浮世絵展 同時開催

斎藤文夫コレクションから肉筆画約60点を展示します。絵師固有の筆使いや色彩の多様性など、一点モノの肉筆画ならではの魅力をご堪能ください。

①12月3日(火)～12月8日(日) アートガーデンかわさき第1～第3展示室 ②12月10日(火)～12月15日(日) アートガーデンかわさき第1展示室

観覧料:無料(ただし、川崎浮世絵ギャラリーの当日観覧券が必要) 場所:上のフロア図参照

第2回 初代広重 東海道五十三次の旅(保永堂版)

2月1日(土)～24日(月・振休)

歌川広重の代表作である保永堂版(ほえいどうばん)「東海道五拾三次之内」の大判錦絵全55枚を一挙公開!

街道を行き交う様々な人々を、季節や時間、天候など多彩な手法で表現した作品をご堪能ください。

また、日本橋や川崎などは初版と絵柄が違う異版も展示し、摺りの変化の様子もお楽しみいただけます。



初代歌川広重 東海道五拾三次之内
箱根 湖水図



初代歌川広重 東海道五拾三次之内
川崎 六郷渡舟

浮世絵
Q&A

◎保永堂版とは?

▲保永堂という版元が出版したということ。広重が描いた「東海道五十三次」は複数種類ありますが、その中で最もスタンダードな版元です。

◎なぜ53次なのに全55枚あるの?

▲宿場53か所に加え、東海道の起点である江戸日本橋と終着点の京都三条大橋も含む55か所が描かれました。今回は、55枚全てをご覧いただくことができます。

ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

残席
僅少

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第152回 ～年末恒例「歓喜の歌」～

巨匠・秋山が日本を代表するソリスト、ハイレベルの東響コーラスとともに贈りする「第九」。

第7回仙台国際音楽コンクール入賞の新星が華を添えます！

12月14日(土)14:00開演(13:30開場)

【出演】指揮：秋山和慶

ヴァイオリン：シャノン・リー(第7回仙台国際音楽コンクール第2位※最高位)

ソプラノ：吉田珠代、メゾソプラノ：中島郁子

テノール：宮里直樹、バリトン：伊藤貴之

合唱：東響コーラス

【曲目】ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番

ベートーヴェン：交響曲 第9番「合唱付き」

【チケット】S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円 C席3,000円

当日学生券1,000円(要問合せ)

秋山和慶
©Naoya Ikegami

シャノン・リー



吉田珠代



中島郁子



宮里直樹



伊藤貴之

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第153回 ～コンクール覇者たちの共演～

ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝、英国出身のベン・グラスバークが名曲初登場。

日本を代表するピアニスト、上原彩子が高度なテクニックを要する、ベートーヴェン「ピアノ協奏曲」を披露！

2020年1月19日(日)14:00開演(13:30開場)

【出演】指揮：ベン・グラスバーク

ピアノ：上原彩子

【曲目】グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番

チャイコフスキー：交響曲 第5番

【チケット】S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

当日学生券1,000円(要問合せ)

ベン・グラスバーク
©Sim Ganetty-Clarke上原彩子
©武藤 章好評
発売中

第9回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

首都圏9音楽大学の選抜メンバーで構成されるのが「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」。

将来のスタープレイヤーたちの演奏をお聴き逃しなく。

2020年3月28日(土)15:00開演(14:30開場)

【出演】指揮：井上道義

管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ(首都圏9音楽大学選抜オーケストラ)

【曲目】ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ「天体の音楽」

伊福部 昭：シンフォニア・タブカーラ

ストラヴィンスキー：バレエ音楽『春の祭典』

【チケット】S席2,000円 A席1,500円

※この他、2020/3/29(日)東京芸術劇場コンサートホールにて開催。

詳細はホームページをご覧ください。

井上道義
©青柳 聡一般発売
11.9(土)

MUZA

MUZA パイプオルガン

クリスマス・コンサート2019

世界のクリスマスを聴く

PIPE ORGAN CHRISTMAS CONCERT 2019

オルガン: 大木麻理*

ハンドベル: きりく・ハンドベルアンサンブル*

P.チャイコフスキー: 組曲「くるみ割り人形」より*

J.S.バッハ: 協奏曲ト長調*

ほか

2019年12月21日[土] 14:00開演

チケット(全席指定・税込)

¥3,500(¥3,150) U25: ¥1,000(小学生~25歳)

※()内は友の会会員料金 ※U25の友の会会員割引はありません。

後援: 一般社団法人 日本オルガニスト協会



©Mari Kusakari

Mari Ohki



KIRIKU Handbell Ensemble



年末はミューザで過ごそう!

会場・主催・お問い合わせ: ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) TEL 044-520-0200 (10:00~18:00)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

MUZA KAWASAKI SYMPHONY HALL 15 YEARS

ホール開館15周年記念事業

MUZA SILVESTER MUZAジルベスターコンサート2019 CONCERT 2019

チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲

J.シュトラウスII: 喜歌劇『こうもり』ハイライト ほか

<日本語上演・演奏会形式>

2019年12月31日(火) 15:00開演 (14:15開場 17:15終演予定)



秋山和慶
指揮

東京交響楽団
管弦楽



成田達輝
ヴァイオリン

大山大輔
フルート博士&台本・構成

村上公太
アイゼンシュタイン

柴田紗貴子
ロザリンデ

小林沙羅
アデーレ

チケット(全席指定・税込)
S席 7,000円(6,300円)
A席 6,000円(5,400円)
B席 5,000円(4,500円)
C席 4,000円(3,600円)

※()内は友の会会員料金
※U25(学生~25歳): 各席一般料金の半額

2019年
12月

ミュージア川崎 シンフォニーホール コンサートカレンダー

MUZA Kawasaki Symphony Hall Concert Calendar December, 2019

「12月の催し」
*チケット料金、残席情報等は各公演のお問い合わせ先までお尋ねください。

1 日 **音楽大学オーケストラ・フェスティバル**
東京音楽大学(指揮:石崎真弥奈) 武蔵野音楽大学(指揮:飯守泰次郎) 洗足学園音楽大学(指揮:秋山和慶)
バルトーク:管弦楽のための協奏曲(東京)/ベートーヴェン:荘厳ミサ曲 より(武蔵野)/チャイコフスキー:交響曲第4番(洗足)
15:00開演
全席指定 一回券 ¥1,000/通し券 ¥2,250
お問合せ MUZA チケット

7 土 **東京交響楽団 川崎定期演奏会 第73回**
指揮:マーク・ウィグリスワース ピアノ:マーティン・ジェームズ・パートレット
モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番/マーラー:交響曲第1番「巨人」
14:00開演
全席指定 ¥8,000 A ¥6,000 B ¥4,000 C ¥3,000 P ¥2,500
お問合せ TOKYO SYMPHONYチケットセンター 044-520-1511 チケット 友 東響

8 日 **合唱団鯨 第71回定期演奏会**
指揮:黒岩英臣 ソプラノ:大村博美 アルト:清水華澄 テノール:古橋郷平 バス:ジョン・ハオ 管弦楽:クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団 合唱指揮:松村努
ベートーヴェン:ミサ曲ハ長調/ブラームス:埋葬の歌、運命の歌、運命の女神の歌
14:00開演
全席指定 ¥4,500 A ¥3,500 B ¥2,500 学生¥1,000
お問合せ 合唱団鯨(鈴木) 090-9374-7207 チケット

10 火 **川崎信用金庫Presents MUZAランチタイムコンサート12月 時空を超える旅芸人《タスラトゥーラ》がやってくる!**
古楽器バンド:タスラトゥーラ(ラウタ、ウード:つのだたかし フィドル:田崎瑞博 リコーダー:ショーム:江崎浩司 パーカッション:近藤郁夫 ビウエラ:山崎まさし)
新しい自転車/夜の蟹/カレリア/スカジャン/サルタレロ(14世紀イタリア舞曲)/レセルカーダ(16世紀スペイン) 他
12:10開演
全席自由 ¥500
お問合せ MUZA チケット

10 火 **川崎信用金庫Presents MUZAワインBAR12月 時空を超える旅芸人《タスラトゥーラ》がやってくる!**
古楽器バンド:タスラトゥーラ(ラウタ、ウード:つのだたかし フィドル:田崎瑞博 リコーダー:ショーム:江崎浩司 パーカッション:近藤郁夫 ビウエラ:山崎まさし)
新しい自転車/夜の蟹/カレリア/スカジャン/サルタレロ(14世紀イタリア舞曲)/レセルカーダ(16世紀スペイン) 他
19:00開演
※全席完売
全席自由 ¥3,500/ペア割 ¥6,000
お問合せ MUZA 友 チケット

14 土 **ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 第152回**
指揮:秋山和慶 ヴァイオリン:シャノン・リー(第7回仙台国際音楽コンクール第2位[最高位]) 独唱:吉田珠代、中島郁子、宮里直樹、伊藤貴之 合唱:東響コーラス
ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番/ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」
14:00開演
全席指定 ¥7,000 A ¥6,000 B ¥4,000 C ¥3,000
当日学生券 ¥1,000 ※要問合せ
お問合せ MUZA 友 東響 チケット

15 日 **ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2019後編 「ショパンの“響”」田村 響 ピアノ・リサイタル**
ピアノ:田村響
【オール・ショパン・プログラム】ワルツ第1番「華麗なる大円舞曲」、第2番、第3番、第4番/スケルツォ第2番/
ノクターン 嬰ハ短調(遺作)/幻想即興曲/ピアノ・ソナタ第2番「葬送」
13:30開演
全席指定 ¥3,600/舞台後方席 ¥2,500
お問合せ 神奈川芸術協会 045-453-5080 チケット 友

21 土 **MUZAパイプオルガン クリスマス・コンサート2019 世界のクリスマスを聴く**
オルガン:大木麻理 ハンドベル:きりく・ハンドベルアンサンブル 連弾ゲスト:安達柚季(MUZAオルガンレッスン修了生)
J.W.ジョーンズ:“もろびとこぞりて”による変奏曲/チャイコフスキー:組曲「くるみ割り人形」より/デュプレ:古いノエルによる変奏曲/
ハンドベルコーナー/J.S.バッハ:協奏曲 ト長調/三澤慶:新作委嘱作品 他
14:00開演
全席指定 ¥3,500/U25(小学生~25歳以下) ¥1,000
お問合せ MUZA 友 チケット

22 日 **2019かわさき市民第九コンサート**
指揮:小森康弘 ソプラノ:佐藤亜希子 メゾソプラノ:藤井麻美 テノール:カリオラ・グイード バリトン:武田直之
合唱:2019かわさき市民第九合唱団 管弦楽:川崎市民交響楽団
ワーグナー:歌劇「ローエングリン」第1幕への前奏曲/ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」
14:00開演
全席指定 ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000
お問合せ 2019かわさき市民第九コンサート実行委員会 080-7752-8252 チケット

23 月・24 火 公演予定

25 水 **横浜市立大学管弦楽団 第50回記念定期演奏会**
指揮:佐々木新平 オルガン:千田寧子
サン=サーンス:交響曲第3番「オルガン付き」/デュカス:交響詩「魔法使いの弟子」/ガーシュウィン:バリのアメリカ人
19:00開演
全席自由 前売り ¥500/当日券 ¥1,000
お問合せ 横浜市立大学管弦楽団 080-5184-2747

28 土 **東京工業大学管弦楽団 第161回定期演奏会**
指揮:末永隆一
シュベルト:「ロザムンデ」序曲/スメタナ:連作交響詩「わが祖国」より第2曲 モルダウ、第3曲 シャルカ/ラフマニノフ:交響曲第2番
18:00開演
全席自由 ¥1,000
お問合せ 広報担当:吉見 080-5987-4195

31 火 **MUZAジルベスターコンサート2019**
指揮:秋山和慶 管弦楽:東京交響楽団 ヴァイオリン:成田達輝 ファルテ博士・台本・構成:大山大輔
アイゼンシュタイン:村上公太 ロザリンデ:柴田紗貴子 アデーレ:小林沙羅
チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」組曲より ワルツ/チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲/
J.シュトラウスII:喜歌劇「こもり」ハイライト(日本語上演・演奏会形式)
15:00開演
全席指定 ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥4,000
U25(小学生~25歳以下) 各席種半額
お問合せ MUZA 友 チケット

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。ミュージア川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せ下さい。また、託児サービスのご用意がございます(一部、例外のある公演もございます)。
東響 マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。
チケット マークの付いた公演は、ミュージア川崎シンフォニーホール・チケットセンターにてお取り扱いしております。
友 マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます。(セット券を除く) 残席状況はお問合せ下さい。売切れの際はご容赦下さい。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌平日が休館。

「都市デザイナーの目で描いた川崎のスケッチ～池澤寛水彩画展～」

期間／12月10日(火)～1月31日(金)

内容／都市デザイナーの視点から見た川崎のスケッチを紹介します。

会場／東海道かわさき宿交流館3階

料金／無料

[プロフィール]池澤 寛

1956年早稲田大学工学部建築学科卒業。

川崎市都市計画審議会委員のほか、全国各都市の街づくりなどにおいても委員を務めた。



稲毛神社



銀座街

第15回「お昼の落語」

日時／12月18日(水)14時開演
(開場13時30分)

内容／若手噺家が、日々の稽古で鍛えた話芸を披露します。落語の持つ様々な魅力に、触れてみませんか。

出演者／前座 柳亭市朗、二つ目 三遊亭めぐる

会場／東海道かわさき宿交流館4階

定員／100名

申込方法／往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数(はがき1枚につき、2名まで申込み可)・「落語希望」と明記の上、〒210-0001 川崎市本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館まで。締切 12月7日(土)必着

料金／無料(全席自由)

第41回 江戸時代の粋に遊ぶ「浪曲～赤穂義士伝～」

日時／12月14日(土)14時開演
(開場13時30分)

内容／12月14日(旧暦)は、まさに赤穂浪士の吉良邸討ち入り当日！目の前で語られる迫力と絶妙な節と嘆詞。討ち入りの醍醐味が目の前で繰り広げられます。浪曲の語りと三味線の妙味をご堪能下さい。

出演者／浪曲師 玉川奈々福、曲師 沢村豊子

会場／東海道かわさき宿交流館4階

定員／当日先着100名

料金／1,500円(全席自由)



玉川奈々福
撮影：御堂義孝



沢村豊子
撮影：御堂義孝

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、

JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分



第39回かわさき演劇まつり ワークショップオーディション

参加者募集

2020年7月に上演する舞台の出演者オーディションを行います。

1972年に始まった「かわさき演劇まつり」は、市内で活動する演劇関係者と市民が一年一年力を合わせて作り上げてきた演劇祭で、来年2020年は「冒険者たち ガンバと15ひきの仲間」を上演します。演出は、川崎市内はもとより、世界で演劇活動を行っている大谷賢治郎さんをお願いしました。

あなたも冒険物語の一員になって、舞台を作ってみませんか？たくさんの方のご参加をお待ちしています。(演劇まつり実行委員会)

[日時]12月23日(月)19時～21時 高津市民館 第1音楽室
(高津区溝口1-4-1 ノクティ2 11F)

12月26日(木)14時～16時 かわさきゆめホール
(中原区下沼部1880)

12月26日(木)19時～21時 かわさきゆめホール
※いずれか1回にご参加ください。開場は30分前です。

[対象]2020年7月11日(土)12日(日)の舞台と一緒に作りたい方

[持ち物]動きやすい服装

[申込み]①氏名・氏名カナ②年齢③住所④電話番号⑤メールアドレス

⑥舞台経験の有無(有の場合は年数をどうぞ)⑦オーディション参加希望日(12月23日・12月26日午後・12月26日夜)を記入のうえ

FAXもしくはメールでお申込みください。

FAX/044-533-6694

メール/matsuri_engeki@yahoo.co.jp

[締切]12月16日(月)必着



主催／かわさき演劇まつり実行委員会・公益財団法人川崎市文化財団

問合せ／川崎市文化財団 事業課 電話 044-272-7366(平日9時～17時)

川崎演劇協会 電話 044-511-4951(不定期)

第14回 お屋の落語



前座と二つ目さんの活動を応援する場として、親しまれている「お屋の落語」ですが、年に一度、真打ちを招きベテランの話芸を楽しんでいただく機会を設けています。今回は、前座の林家彦星さん、真打ちの初音家左橋師匠にご出演いただきました。

一席目の演目は、彦星さんによる「つる」。鶴と呼ばれるようになった由来についての噺で、おちょこちゃん男が隠居から聞いた適当な嘘話を周囲に話し、さらに滅茶苦茶になっていく様に、会場からクスクスと笑いが漏れていました。

二席目は左橋師匠による、秋にピッタリの演目「目黒の秋刀魚」。海と無縁な目黒を秋刀魚の産地と思い込んでいる世間知らずの殿様をちょっと皮肉った有名な噺で、話が進むたびに会場から大きな笑いが起こっていました。仲入り後、左橋師匠よりもう一席、演目「子は鎧」を披露いただきました。離縁した夫婦が、子どもの橋渡しによってよりを戻すという人情噺に、会場は大きな拍手で包まれました。

「目黒の秋刀魚」など、今ではお祭りが開催されるほど有名になっていますが、その由来が古典落語だということは意外と知られていません。こうした現代生活や文化にも通じているという点も、落語の大きな魅力なのかもしれません。

(9月18日 東海道かわさき宿交流館)

おんまちジャズ 聴かnight! ~参加しnight!~



秋の音楽フェスティバル「かわさきジャズ2019」開催にあたり、期間中の運営をサポートするボランティアメンバーの顔合わせを兼ねたプレイイベントとして、「音楽のまち・かわさき」推進協議会が無料ジャズライブを開催しました。2018年にオープンした溝の口駅そばのライブハウス「溝ノ口劇場」で、期間限定で設置されているスタインウェイのグランドピアノを使用し、3組のアーティストが演奏しました。

まずは、専修大学ジャズ研究会「MJAブルーコーラル」による、ジャズへの真摯な姿勢が伝わる演奏からスタート(写真)。二組目のポップスユニット「ジョニクロ」は、カジュアルな曲とバラードを織り交ぜて演奏。曲中では観客に手

拍子や、テンポの良いフレーズでの歌唱も促し、大いに盛り上がりました。ラストの本格ジャズバンド『BIEN WHO?』は、スタンダードジャズやボサノバを独自アレンジで演奏し、アンコールまで観客を釘付けにしました。

その他、ステージ転換時にはボランティアメンバーが活動を始めたきっかけや、ジャズの魅力、ご自身が習っている楽器についての話も共有しました。大学生からジャズを愛する年配の方まで約70人が集い、かわさきジャズを初めて知る方にも、多彩なイベント内容やボランティア活動について知ってもらうことができる時間となりました。(10月3日 溝ノ口劇場)

ミュージア川崎シンフォニーホール 開館15周年記念公演 「グレの歌」



©青柳 聡

ミュージア開館15周年の目玉公演として、またクラシック音楽界でも今年一番の注目を集めたシェーンベルク作曲「グレの歌」。東京交響楽団の全楽団員が出演してもまだ足りない150名の大編成のオーケストラがステージを埋め尽くし、200名を超える東響コーラス、そして海外の歌劇場で活躍するトルステン・ケールら錚々たる声楽陣が共演。東京交響楽団音楽監督のジョナサン・ノットはこれだけの巨大な編成でありながら室内楽のような精密さで細かに施されたあらゆる音楽上の仕掛けをコントロールし、豊かなダイナミクスの中で永遠の愛と自然を描写しました。主役のヴァルデマル王は、厚みのあるオーケストラに対抗するための声量を必要とする難しい役どころですが、トルステン・ケールは期待に応える健闘。存在感を示したのは山鳩役のオッカ・フォン・デア・ダムラウ。2015年「コジ・ファン・トゥッテ」以来の出演となったレジェンド、サー・トーマス・アレンの語りは滋味あふれる演技も相まってさすがの貫禄。ラストの「太陽を見よ!」で最大音量となる合唱とオーケストラが輝かしい夜明けを描き、終演後は鳴りやまぬ拍手とスタンディングオベーション。まさに開館15周年にふさわしい公演となりました。

(10月5・6日 ミュージア川崎シンフォニーホール)

しんゆりシアター ミュージカル公演 『ミラクル』

辻仁成の小説『ミラクル』(1993年初版)をミュージカル化。ママに会ったことのない少年アルとピアノ弾きの父親シド、そして彼らを見守る人々が織りなす少しほろ苦くて、切なくも愛しい成長の物語。

2009年に昭和音楽大学にて初演(脚本・演



©関口淳吉

出:ふじたあさや、音楽:西村勝行)され、今作は演出に河田園子を迎えました。戯曲を小劇場空間に合わせて書き直し、新曲も加え、ピアノ・ヴァイオリン・パーカッション・ギターの生演奏がストーリーを盛り上げる上演となりました。

「雪が降ればママに会える」とシドがついた嘘を信じ、雪が降るのを待ち続けるアルのもとにアルを見守る幽霊・ダダとエラソーニが現れます。二人に「ママってどんな人?」と問うアル…。「ママは許してくれる人」。思わず自らの家族を振り返ってしまうその答えは強く深く印象に刻まれます。真実とは…、相手を思いやる気持ちとは…。子どもたちへのメッセージを紡ぐと同時に大人向けの童話のような側面を併せ持つ今作は多くの共感を呼びました。

(10月14~20日 川崎市アートセンターアルテリオ小劇場)

第88回 ラゾーナ寄席

今回は、前座に美人すぎる落語家として話題の金原亭乃々香さんによる『たらちね』、二ツ目には林家扇兵衛さんによるこれからの季節にぴったりなおでんの話『ぐつぐつ』が披露されました。



つづいての真打一人目は、ラゾーナ寄席の世話人・初音家左橋師匠による『茶の湯』。隠居生活を始めた主人が暇を持て余し茶の湯を始めますが、知識がなく、青黄粉と椀(むく)の皮を使って茶を点てます…。茶の知識がない長屋の住人たちが茶会に招待され、大慌てする様子や人々が不味そうな顔をしながら茶を飲む様子に笑いがおこりました。安定感のある口調で会場もリラックスして楽しんでいました。

トリは、2012年に入門10年目にして真打に昇進し話題となった古今亭文菊師匠。オネエのような喋りで枕噺が始まりどっと笑いが。落語の中でも有名な演目「抜け雀」では、衝立から出入りする雀を描いた絵師が、止まり木がないと死んでしまうとと同じく絵師である父親に鳥かごを書き加えられたのを知り「自分は親不孝だ、大事な親をかごかきにさせた」という場面がありました。鳥かごを描く事と駕籠かき(乱暴等をしたる悪い駕籠屋のこと)をかけたオチに、なるほどと拍手が起こりました。また、文菊師匠による登場人物に合わせた声色や仕草の変化が細かく表現されており、情景を思い浮かべながら聞くことが出来ました。次回公演の詳細については裏表紙をご覧ください。

(10月15日 ラゾーナ川崎プラザソル)

初めての方にも分かる

～ 能楽入門 ～ 其の二

今回は「能の流派・演目・形式」、「能舞台」についてご説明します。

※前回の「能楽入門」はアートニュース2019年11月号に掲載。公式ホームページをご覧ください。

●能の流派(シテ方※)

現在、能のシテ方には観世流、宝生流、金春流、喜多流、金剛流の5流があります。

同じ演目でも、流派によって舞の型や謡等が異なります。

※シテ方…主役をつとめる能楽師のグループ

●能演目の種類

250以上の演目があり、主人公によって「五番立」という種類分けができます。

- 一番目物…神様の能。
- 二番目物…勇壮な武士・男の能。
- 三番目物…女性の能。
- 四番目物…執心の人物等他に当てはまらない能。
- 五番目物…鬼の能。

昔は5つ全てを1日通して上演していたようです。間には狂

言を必ず挟んでいたため、今もセットで上演されることが多くあります。

●能の形式

典型的な形式は、世阿弥が定着させた「複式夢幻能」があります。(複式=前半と後半があること、夢幻=夢や幻を見せてくれること。)

例)

[前半]ワキ(シテの相手役。法師や都の人)が旅をしていると、シテ(化身)が出てきてその土地や身の上の話をする。→「実は私は～の化身です」と名乗り去って行く。

[中入り]シテが着替えている間に、アイ狂言(狂言方による人物・物語の解説)がある。

[後半]ワキが祈ったりまどろんだりしていると、シテが真の姿になって現れて舞う。→成仏して去って行く。

能舞台を知ろう

能舞台は、もともと屋外にありました。能がより盛んになると、各所に能舞台が常設され、現在のような屋外の能舞台と客席を一つの建物の中にした形状になりました。

〈鏡の間〉

大きな鏡があり、演者が最後の身支度を行う神聖な場。面の付け外しはここで行う。

〈鏡板〉

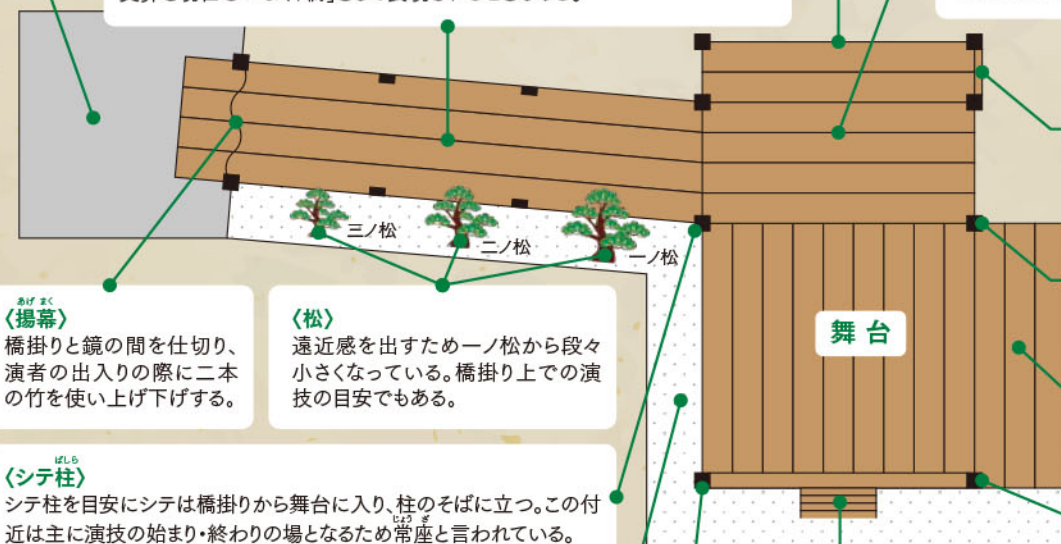
正面の奥には大きな老松が描かれている。その右側には若竹が描かれている。松は「永遠の生命」とされ人々から信仰を集めていた。



写真:川崎能楽堂

〈橋掛り〉

楽屋と舞台を結ぶ長い廊下。舞台の延長線として演技されることが多い。異界と現世をつなぐ「橋」として表現されることもある。



〈揚幕〉

橋掛りと鏡の間を仕切り、演者の出入の際に二本の竹を使い上げ下げする。

〈松〉

遠近感を出すため一ノ松から段々小さくなっている。橋掛り上での演技の目安でもある。

〈シテ柱〉

シテ柱を目安にシテは橋掛りから舞台に入り、柱のそばに立つ。この付近は主に演技の始まり・終わりの場となるため常座と言われている。

〈白洲〉

白い小石が敷き詰められている。能舞台と観客席が別棟にあった時の名残で、昔は自然光を受け、間接照明のような役割を担っていた。
※川崎能楽堂には白洲がありません。そのため、観客席からより近く舞台を見ることが出来ます。

〈白洲梯子(きざはし)〉

舞台の始まりを命じる際に使用した階段。現在は使用されていない。

〈ワキ柱〉

ワキ方が座る位置のそばにある柱。



写真提供:横浜能楽堂

〈後座(横板)〉

囃子方や後見が座る部分。床板が横に貼られていることから横板とも呼ばれる。

〈切戸口〉

地謡や後見が出入りする場所。

〈笛柱〉

笛方が座る位置のそばにある柱。

〈地謡座〉

地謡が座る場所。

〈目付柱〉

視野の狭い面を付けた状態で演者が自分の位置を確認するための重要な目印となる柱。

能舞台平面図

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・時間・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □ = 休館日

Event Calendar

2019.12

		1 Sun	2 Mon	3 Tue	4 Wed	5 Thu	6 Fri	7 Sat	8 Sun	9 Mon	10 Tue	11 Wed	12 Thu	13 Fri	14 Sat	15 Sun	16 Mon	17 Tue	18 Wed	19 Thu	20 Fri	21 Sat	22 Sun	23 Mon	24 Tue	25 Wed	26 Thu	27 Fri	28 Sat	29 Sun	30 Mon	31 Tue
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日 12月28日(土)～1月4日(土)	第1展示室			川崎浮世絵ギャラリー 開館記念企画 浮世絵展 12月3日(火)～8日(日)						川崎浮世絵ギャラリー開館記念企画 浮世絵展 12月10日(火)～15日(日)						須山会100人会 12月17日(火)～22日(日)						 21日(土)、22日(日)は ワークショップ 同時開催										
	第2展示室									木美会 12月10日(火)～15日(日)						羽田フォトクラブ水曜会 12月17日(火)～22日(日)																
	第3展示室									JFE京浜陶芸部作品展 12月10日(火)～15日(日)						川崎市障害者作品展 12月18日(水)～22日(日)																
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL.541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(日)～1月3日(金)								令和1 みゆき水彩作品展 12月6日(金)～11日(水)			川崎市人権・男女共同参画室 めぐみちゃんと家族のメッセージ～写真展 12月13日(金)～20日(金)※16日休館																					
ミュザ川崎シンフォニーホール 4F企画展示室(幸区) 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】12月16日(月)、12月29日(日)～1月3日(金)														大天使ワラエル 笑える? 原画展 12月23日(月)																		
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL.433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(日)～1月3日(金)		楽学会写真展 11月29日(金)～12月4日(水)						多摩川フォトクラブ写真作品展 12月6日(金)～11日(水)						パーク水彩会展 12月13日(金)～18日(水)※16日休館						小杉陶芸研究会 作陶展 12月20日(金)～25日(水)												
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL.814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(日)～1月3日(金)		悠遊フォトクラブ写真展 12月1日(日)～12月4日(水)						川崎教育版画の会 川崎子どもの版画展 12月7日(土)～11日(水)						大調和会 川崎展 (油絵、水彩画) 12月13日(金)～18日(水)※16日休館						教育委員会事務局総務部 人権・共生教育担当 令和元年度かわさき子どもの権利の日のつどい(情報パネル) 12月21日(土)～22日(日)												
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL.888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(日)～1月3日(金)		宮前区文化協会 令和元年度文化祭作品展 11月29日(金)～12月3日(火)						宮前地区青少年指導員会 12月7日(土)～8日(日)						日曜アトリエ作品展 12月13日(金)～18日(水)※16日休館						菅生デッサン研究会作品展 12月20日(金)～25日(水)												
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL.935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(日)～1月3日(金)		いけばな翠の会 秋の生け花展 11月29日(金)～12月1日(日)						第5回フォトクラブ多摩写真展 12月6日(金)～11日(水)												翠風会 翠風墨画展 12月20日(金)～25日(水)※21日休館												
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 生田緑地内 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 12月29日(日)～1月3日(金)	企画展	有料 岡本太郎美術館20周年記念展「これまでの企画展みんな見せます! 後期/芸術と社会・現代の作家たち」 10月26日(土)～2020年1月13日(月・祝) 観覧料:一般1,000円、高・大学生・65歳 以上800円、中学生以下は無料※常設展もあわせてご覧いただけます。																														
	常設展	有料 「開運 岡本“福”太郎」 10月19日(土)～2020年1月13日(月・祝)																														
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL.951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(日)～1月3日(金)		しゃらく麻生(写真) 11月29日(金)～12月4日(水)			川崎市教育委員会 学校教育指導課 かわさきふれあい作品展 12月6日(金)～11日(水)						川崎市総合文化団体連絡会 第36回かわさき市民芸術祭こども芸術祭(絵画・手芸・工作) 12月13日(金)～18日(水)※16日休館						新ゆり絵画研究会 (水彩画・パステル画) 12月20日(金)～25日(水)															
パラアート展情報 川崎市文化財団 TEL.272-7366 障害のあるなしに関わらず親しめる美術活動の展覧会情報を掲載します。 情報をお寄せください。																																



21日(土)、22日(日)は
ワークショップ
同時開催

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

台風19号の被害により、当面の間、休館させていただきます。

今後の情報は、当館公式ホームページをご確認ください。

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 FAX.754-4533
【アクセス】JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分
<http://www.kawasaki-museum.jp/>



●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市 視覚障害者情報文化センター 〈川崎市〉

川崎アイeyeセンターまつり スペシャルイベント



ここんていきくたろう 古今亭菊太楼 落語会

川崎市視覚障害者情報文化センターは、目の見えない、見えにくい人が自立した生活をおくれるように支援する施設です。年に一度、施設を一般公開する「川崎アイeyeセンターまつり」を開催しています。

今年のセンターまつりは、スペシャルイベントとして古今亭菊太楼師匠の落語会を開催します。

演目は「当日の場の雰囲気を見てのお楽しみ」とのこと。テンポよく聞き手をぐっと引き込む菊太楼師匠の世界。芸暦20年以上の圧倒的な話芸で、たっぷり笑いのひと時をお楽しみいただきます。

[日時] 12月14日(土)

午後1時30分開演(午後1時開場)

[会場] ふれあいプラザかわさき2階ホール

(川崎市川崎区堤根34-15 京浜急行線八丁駅駅徒歩5分・JR川崎駅徒歩15分)

[料金] 無料(予約不要)※どなたでも参加できます。

[お問い合わせ先] 川崎市視覚障害者情報文化センター

(愛称: 川崎アイeyeセンター)

TEL.044-222-1611

川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展 / 10月26日(土)~2020年1月13日(月・祝)

岡本太郎美術館20周年記念展

これまでの企画展みんな見せます!

後期 / 芸術と社会・現代の作家たち

生前の岡本太郎氏から川崎市が2千点におよぶ主要作品の寄贈を受け、1999年10月に岡本太郎美術館が開館し今年で20年を迎えました。開館20周年の記念として、これまでに開催してきた企画展を振り返り、展覧会を象徴する代表作品や資料を抽出し展示する展覧会を前期と後期に分けて開催します。

後期展では、震災、食、メディアなど芸術と社会との関わりをテーマとした展覧会と、TARO賞の作家や現代を生きた作家の作品を中心に展示します。



関連イベント

◆皮膜としての映像とダンスパフォーマンス

ヒグマ春夫の映像空間で繰り広げる神秘的な舞踏世界を体験ください。

●日時: 12月21日(土)、22日(日) 14:00、16:00

(1日2回公演)

●出演: ヒグマ春夫(映像) × 高宮梢(ダンス)

●場所: 企画展示室 ●料金: 無料(要観覧料)



常設展 / 10月19日(土)~2020年1月13日(月・祝)

「開運 岡本“福”太郎」

岡本太郎は油彩や彫刻に留まらず、幅広い制作を行っていました。一方で、逆境や危険にあえて立ち向かう岡本の芸術は一貫して力強いエネルギーを持っています。本展ではご来館いただいた皆さまの運が開けることを願い、岡本の重要なモチーフである「太陽」をはじめとした縁起のよい色・形・主題を、高天麗舟氏の特別監修による風水調整を取り入れた展示構成にて紹介します。岡本の創作のエネルギーを感じることで、皆さまに力強い“福”が訪れるよう、願っております。



《福》1984年

展覧会料金等 企画展・常設展どちらもあわせてご覧いただけます。

料 金: 一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下は無料

※()は20名以上の団体料金

休館日: 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土曜・日曜を除く)、年末年始

その他のイベント

◆“光るちようこく”をつくらう

岡本太郎は、光を造形素材として取り込み、彫刻でありまた照明である作品を制作しています。

あなたも光とその他の材料を使って“光るちようこく”をつくってみませんか?

●日時: 12月1日(日) 13:00~15:00

●対象: 小学生以上どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

●定員: 20名 ●場所: 創作アトリエ、展示室、ガイダンスホール

●料金: 500円+観覧料

●申込: 電話受付(11/8(金)10:00から受付開始)、先着順



◆専修大学EmoHillアカベラライブ

「クリスマスライブ」

好評の専修大学アカベラサークル「EmoHill」によるストリートライブです。

テラスでコーヒーを飲みながら、フレッシュなハーモニと季節を彩る選曲をお楽しみください。

●日時: 12月22日(日) 12:40~13:10 ※時間は変更になる場合があります。

●場所: 岡本太郎美術館カフェ前(屋外)

●料金: 無料

※荒天中止



※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp>

多摩区新形7-1-5 生田緑地内 TEL.900-9898 FAX.900-9966

【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分

専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30~17:00(入館16:30まで)

【休館日】月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土曜・日曜を除く)、年末年始

<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、Facebook、Twitterにて情報発信中



アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200 <http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
お問合せ●川崎市アートセンター 044-955-0107



第77回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

12月は三遊亭とん馬をゲストに迎え、音曲噺「稽古屋」を披露します。女にモテたい喜六は甚兵衛にどうしたらモテるか相談します。容姿、お金、性格など、どれも当てはまらない喜六に甚兵衛が勧めたこととは…。「稽古屋」は今では大変珍しい音曲噺。音曲噺とは噺の途中で三味線などの生演奏が入るネタのこと。戦後の落語界を代表する一人5代目古今亭志ん生なども得意とした一席です。貴重な機会をお見逃しなく！

2019年12月21日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】三遊亭とん馬、桂米多朗、山遊亭くま八、三遊亭あんぱん

【チケット】一般2,000円、学生1,000円、小学生500円、2枚セット券3,600円、4枚セット券6,800円(全席自由・税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

【お知らせ】仲入り後には演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。



三遊亭とん馬



桂米多朗

しんゆりジャズスクエアvol.42

シンガーズアンリミテッド、マンハッタントランスファーなど有名ジャズコーラスグループの人気曲を、日本を代表するジャズコーラスグループのブリーズが歌う！

2020年1月24日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】vo/ブリーズ(小菅けいこ、松室つかさ、中村マナブ、磯貝たかあき)、p/野口久和、g/田辺充邦、b/佐瀬 正、ds/吉岡大輔

【チケット】一般 2,500円、2枚セット券4,500円、4枚セット券8,500円(全席自由・税込)



ブリーズ

速報!

しんゆりシアター 劇団わが町第9回公演

題未定

演出：ふじたあさや 脚本：劇団わが町文芸部

2017年に上演した「恐れを知らぬ27人の劇作家?と49人の俳優たち」を覚えていますか?あの公演をご覧になった時のスリルを覚えていますか?どうなるのか分からない「ドキドキ」、こんなことを書いたんだという「ビックリ」。あのドキドキとビックリをもう一度体験してみませんか?台本は、今工事中。だから当然「題未定」です。

劇団わが町芸術監督 ふじたあさや

市民劇団・劇団わが町は2019年6月に新劇団員を迎え、総勢約50名となりました。新体制での1作目の公演は、新作書き下ろし。劇団員から「みんな違ってみんないい」をテーマに短編戯曲を募集し、それをつなぎ合わせ一つの作品にまとめます。現在鋭意制作中!どのような作品になるのかお楽しみに。

2020年2月7日(金)～9日(日)

【出演者】劇団わが町劇団員



前回公演「みすゞ源々」(2018年)
©開口亭吉

【チケット取扱い】●tel/「しんゆりジャズスクエア」：エアブレイン 044-954-9990(平日10:00～18:00)
「しんゆり寄席」：川崎市アートセンター 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)
●web/川崎市アートセンター <http://kawasaki-ac.jp/th/>
●窓口/川崎市アートセンター 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く)
※「しんゆり寄席」の学生チケットは窓口のみ取扱い。要学生証提示。

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇・ミュージカル・ダンス・コンサート・発表会・セミナーなど様々な形態でご利用頂くことができます。基本形式193席の客席を有する舞台に加え、3つの楽屋や工房もございます。詳細はWEB(<http://kawasaki-ac.jp>)または川崎市アートセンター 044-955-0107までお問合せ下さい。



“樹木希林”を生きる

11.23(土)～12.13(金)

2019年|日本|カラー|ビスタ|1h48|DCP 監督: 木寺一孝 出演: 樹木希林

2018年9月15日に逝去した女優・樹木希林の最後の日々を追ったドキュメンタリー。樹木に初めて長期密着取材し、18年9月26日に放送されたNHKの同名ドキュメンタリー番組に未公開映像を加えて再編集した。57年の役者人生の中で多くのドラマや歌番組、CMに出演し、日本映画界にとって欠かせない存在となった樹木希林。歯に衣着せぬ物言いと周囲への細やかな心遣い、あふれでるユーモアで日本中から愛された彼女は、多忙な中でも日々の暮らしを大切に、人生なりゆきと語りながらも独自のスタイルを持っていた。そんな彼女の最後の日々を捉え、“なりゆき人生”と心に響く言葉の数々から生きるヒントを学ぶ。



©NHK

レッキング・クルー 伝説のミュージシャンたち

11.23(土)～12.6(金)

2014年|アメリカ|カラー|ビスタ|1h41|DCP 監督: デニー・テデスコ

出演: ブライアン・ウィルソン、グレン・キャンベル、ジミー・ウェブ、ミッキー・ドレンツハル・ブレイン、トミー・テデスコ、キャロル・ケイ、アル・ケーシー、アール・パーマー

アメリカンポップスやロックンロールの黄金時代である1960年代から70年代に、エルビス・プレスリーやフランク・シナトラら偉大なアーティストたちのヒット曲を手がけた伝説のセッションミュージシャン集団「レッキング・クルー」にスポットを当てたドキュメンタリー。アーティストたちから絶大な信頼を寄せられ最高のサウンドを生み出しながらも、これまでほとんど知られることのなかった彼らの栄光と苦悩を描く。レッキング・クルーの伝説的ギタリスト、トミー・テデスコの息子デニーが、父が肺がんに侵されたことをきっかけにカメラを取り、数年にわたって父をはじめとする関係者らにインタビューを敢行。「ザ・ビーチ・ボーイズ」のブライアン・ウィルソン、ナンシー・シナトラ、シェールらそうそうたる顔ぶれのアーティストたちがレッキング・クルーについて語るほか、実際にレッキング・クルーが演奏しているオリジナル楽曲の数々を全編に散りばめ、その全貌を明らかにしていく。



©2014 Lunchbox Entertainment

第三夫人と髪飾り

11.30(土)～12.13(金)

2018年|ベトナム|カラー|1:1.5|1h35|DCP|R15+

監督: アッシュ・メイフェア

出演: トラン・ヌー・イエン・ケー、マイ・トゥー・フォン、グエン・フォン・チャー・ミー

19世紀の北ベトナム。14歳の少女メイは、絹の里を治める大地主の3番目の妻として嫁いでくる。一族が暮らす大邸宅には、唯一の息子を産んだ穏やかな第一夫人と、3人の娘を持つ魅惑的な第二夫人がいた。まだ無邪気だったメイは、この家では世継ぎとなる男の子を産んでこそ「奥様」になれることを知る。やがてメイも妊娠し、出産に向けて季節が流れていく中、第一夫人も妊娠していることが判明する。同じ頃、メイは第一夫人の息子ソンと第二夫人のある秘密を知る。



©copyright Mayfair Pictures.

英雄は嘘がお好き

11.30(土)～12.13(金)

2017年|フランス|カラー|シネスコ|1h31|DCP 監督: ローラン・ティラール

出演: ジャン・デュジャルダン、メラニー・ロラン、ノエミ・メルラン

1809年、フランス・ブルゴーニュの裕福なボーグラン家に暮らすエリザベット。彼女には戦地から帰る婚約者を待ち続ける健気な妹ポリヌがいた。そんな妹を気の毒に感じたエリザベットは差出人を婚約者と偽り、彼女が自分で書いた手紙を妹に届け続ける。エリザベットはポリヌの婚約者であるヌヴィル大尉が戦地で大活躍の末に戦死したことにしたが、それから3年後、町中で偶然にヌヴィルと遭遇してしまう。平静ではいられないエリザベットをよそに、ヌヴィルはこの嘘を利用したある儲け話をもくろむが……。



©JD PROD - LES FILMS SUR MESURE - STUDIOCANAL - FRANCE 3 CINEMA - GV PROD

トスカーナの幸せレシピ

12.7(土)～12.20(金)

2018年|イタリア|カラー|シネスコ|1h32|DCP 監督: フランチェスコ・ファラスキ

出演: ヴィニーチオ・マルキオーニ、ヴァレリア・ソラーノ、ルイジ・フェデーレ、ニコラ・シリ

元三ツ星レストランのシェフと、料理の才能を秘めたアスペルガー症候群の若者が、料理を通じて築いていく友情や絆を描いたイタリア発のハートウォーミングドラマ。一流シェフのアルトゥーロは、仲間とのトラブルで傷害事件を起こしてしまい、更正のための社会奉仕としてアスペルガー症候群の若者たちに料理を教えることに。やがて、生徒となった若者の中から、絶対味覚をもつ青年ガイドが若手料理コンテストへの出場を決め、アルトゥーロが付き添いでコンテスト会場に向かうことになる。それは、ガイドにとって初めての旅行だった。しかし、アルトゥーロに料理人としてのプライドをかけた大切な仕事が無駄に、ガイドのもとを離れなければならなくなり……。



©2018 VERDEORO NOTORIOUS PICTURES TC FILMS GULLANE ENTERTENMENTO

ゴッホとヘレーネの森 クレー・ミュー美術館の至宝

12.7(土)~12.20(金)

2018年|イタリア|カラー|ビスタ|1h30|DCP 監督:ジョヴァンニ・ピスカリオ
出演:ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ

世界随一のゴッホの個人コレクター、ヘレーネ・クレー・ミュー夫人の目を通して、ゴッホを描いたドキュメンタリー。フィンセント・ファン・ゴッホ作品の個人のコレクターとしては最大規模となる約300点を収集したヘレーネ・クレー・ミュー。オランダ有数の資産家で、4人の子どもの母親でもあった彼女は、娘が通っていた絵画教室で芸術に接し、絵画のコレクションをスタートさせる。ゴッホ作品を中心とした彼女のコレクションは1938年にクレー・ミュー美術館として結実した。本作ではゴッホ研究の第一人者であるマルコ・ゴルディンの監修により、修業時代から自殺の直前まで変化したゴッホの作風を波乱の人生と重ね合わせて解説。ゴッホとヘレーネが残した膨大な手紙から、芸術と人間の生を探究する2人の深層に迫っていく。



©2018 - 3D Produzioni and Nexo Digital - All rights reserved

風をつかまえた少年(アンコール上映)

12.14(土)~12.20(金)

2018年|イギリス・マラウイ|カラー|シネスコ|1h53|DCP
監督・脚本: キウエデル・イジョフォー

出演: クリスタン・デ・ブラン、マックスウェル・シンバ

2001年、アフリカの最貧国のひとつマラウイを大干ばつが襲う。14歳のウィリアムは貧困で学費を払えず通学を断念するが、図書館で出合った1冊の本をきっかけに、独学で風力発電のできる風車を作り、畑に水を引くことを思いつく。しかし、ウィリアムの暮らす村はいまだに祈りで雨を降らせようとしているところで、ウィリアムの考えに耳を貸す者はいなかった。それでも家族を助けたいというウィリアムの思いが、徐々に周囲を動かし始める。



©2018 BOY WHO LTD / BRITISH BROADCASTING CORPORATION / THE BRITISH FILM INSTITUTE / PARTICIPANT MEDIA, LLC

象は静かに座っている

12.21(土)~12.27(金)

2018年|中国|カラー|ビスタ|3h54|DCP

監督・脚本・編集: フー・ポー 出演: チャン・ユー、パン・ユーチュン、ワン・ユーウェン

中国北部の地方都市に暮らす別の境遇にいる男女4人の1日を4時間近い長尺で描き、第68回ベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞、最優秀新人監督賞スペシャルメンションを獲得した一作。監督のフー・ポーはこれがデビュー作だったが、作品完成直後に自ら命を絶ち、遺作にもなった。かつては炭鉱業で隆盛しながらも、今では廃れてしまった中国の小さな田舎町。友達を殺した少年ポーは、町で幅を利かせているチェンの弟で不良の同級生シュアイをあやまって階段から突き落としてしまう。チェンたちに追われて町を出ようとするポーは、友人のリンや近所の老人ジンも巻き込んでいく。それぞれが事情を抱える4人は、2300キロ離れた先にある満州里にいくという、1日中ただ座り続けている奇妙な象の存在にわずかな希望を求めて歩き出す。



©Ms. CHU Yanhua and Mr. HU Yongzhen

去年マリエンバートで 4Kデジタル・リマスター版

12.21(土)~12.27(金)

1961年|フランス・イタリア|モノクロ|シネスコ|1h34|DCP

監督: アラン・レネ 脚本: アラン・ロブ＝グリエ

出演: デルフィーヌ・セリグ、ジョルジュ・アルベルタッツィ、サッシャ・ピトエフ

フランスの名匠アラン・レネが1961年に手がけ、同年の第22回ベネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞した一作。戦後世界文学にムーブメントを巻き起こした文学運動ヌーヴォーロマンの旗手アラン・ロブ＝グリエが執筆した脚本で、ヌーヴェルヴァーグ左岸派の代表格とされるレネがメガホンをとるという奇跡的なコラボレーションが実現し、「映画史上最も難解な映画」とも称される一作だが、後の映画作家たちにも多大な影響を与えたとも言われている。時代も国籍も不明なバロック調の宮殿のようなホテルに宿泊し、社交に興じる客たち。その中に女Aと男X、男Mの3人がいた。MとAは夫婦だが、XはAに対し、1年前に会い、愛し合ったと語りかける。Aは否定するが、Xは1年後に駆け落ちする約束をしたという。Xの話は真実か、それとも……。



©1960 STUDIOCANAL - Argos Films - Cinefix

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席/整理番号順入場)

◆各種割引デーあり

●木曜日はメンズデー ●金曜日はレディースデー ●夫婦50割

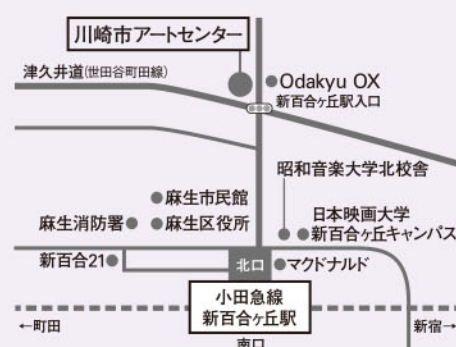
◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

●入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)

●ポイント5つで招待券1枚プレゼント!

●同伴者割引: 1名様まで、割引料金になります。

ご入会手続きは受付でのみ承っております。



毎月

第三火曜日
のお楽しみ
2019

ラゾーナ寄席

第90回

2019年

12月17日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…三遊亭好太郎・初音家左橋・林家花いち・三遊亭じゅうべい

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭好太郎

狂

言

を

楽

し

も

う

野村万蔵による
芸能サロン

2020年1月11日(土)

14:00開演(13:30開場)

会場:川崎能楽堂

料金:3,000円(全席指定)

狂言のお話 野村万蔵

狂言「鎌 腹」小笠原匡

狂言「宝の槌」野村万蔵

[チケット発売]2019年11月29日(金) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順)

*残券がある場合は、発売日正午より電話・ホームページでも販売いたします。窓口完売の際は電話・ホームページでの受付はいたしません。

[チケット取扱・お問合わせ]川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

川崎市文化財団HP <http://www.kbz.or.jp/event/noh/20200111/>

[受付時間]窓口・電話9:00~17:00(水曜定休日)

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

主催●公益財団法人川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366/FAX.044-544-9647



公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。



~川崎市文化財団公式 Twitter~

川崎市文化財団 @kbunkazaidan
<https://twitter.com/kbunkazaidan>



〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647
<http://www.kbz.or.jp>
令和元年12月1日発行

川崎市文化財団

検索

